

調査結果の概要

(1) 乳用牛

ア 飼養戸数・頭数

平成17年2月1日現在（以下「平成17年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は2万7,700戸で、前年に比べて1,100戸（3.8%）減少した。

飼養頭数は165万5,000頭で、前年に比べて3万5,000頭（2.1%）減少した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より1頭増加して60頭となった。

また、乳用牛の経産牛と未經産牛別飼養頭数をみると、経産牛は105万5,000頭で、前年に比べて3万3,000頭（3.0%）減少したが、未經産牛は59万9,900頭で前年並みとなった。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

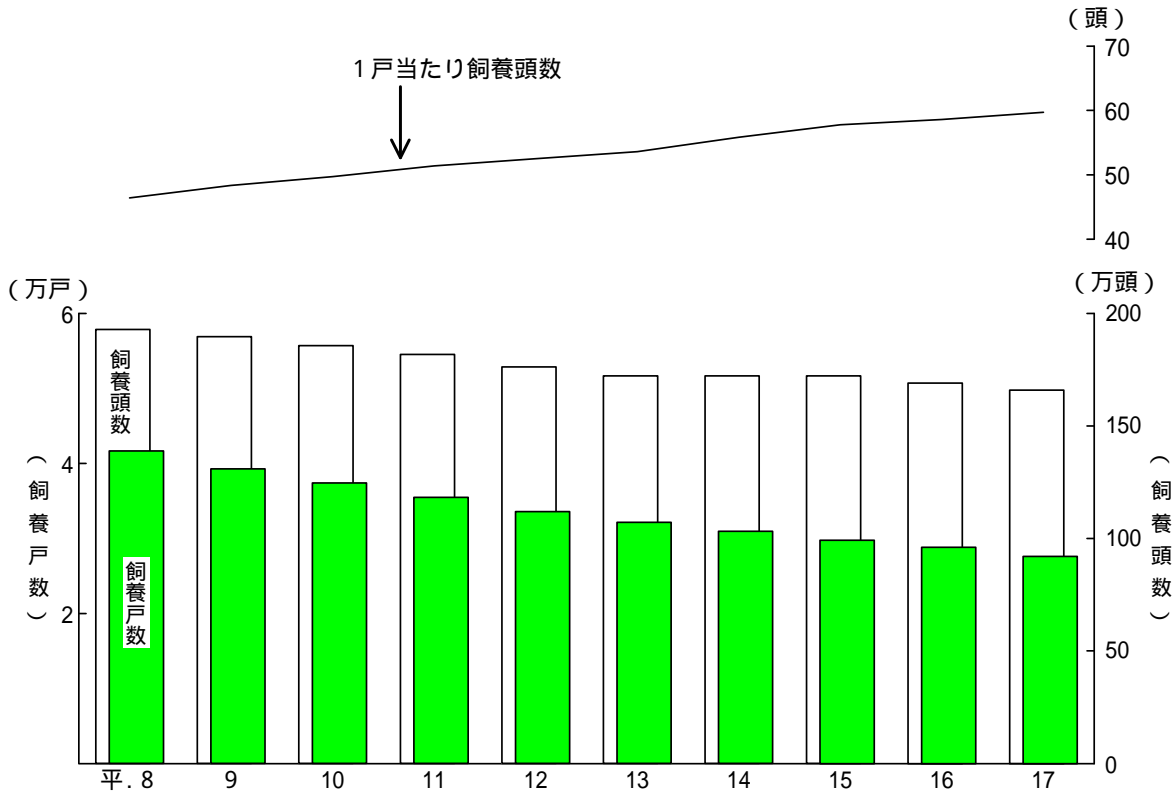


表1 乳用牛の飼養戸数・状態別飼養頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数 (千頭)					1戸当たり飼養頭数	
		計	経産牛			未經産牛		
			小計	搾乳牛	乾乳牛			
実数	平. 15	29 800	1 719.0	1 120.0	964.2	156.0	598.6	58
	16	28 800	1 690.0	1 088.0	935.8	152.0	602.6	59
	17	27 700	1 655.0	1 055.0	910.1	144.9	599.9	60
対前年比 (%)	平. 15	96.1	99.6	99.5	99.8	97.3	99.9	1) 2
	16	96.6	98.3	97.1	97.1	97.4	100.7	1) 1
	17	96.2	97.9	97.0	97.3	95.3	99.6	1) 1
構成比 (%)	平. 15	-	100.0	65.2	56.1	9.1	34.8	-
	16	-	100.0	64.4	55.4	9.0	35.7	-
	17	-	100.0	63.7	55.0	8.8	36.2	-

注:1)は、対前年差である。

イ 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下、飼養頭数規模別飼養戸数・頭数において同じ。）にみると、飼養戸数は「100頭以上」の階層で前年に比べて1.3%増加したが、「80～99頭」の階層で前年並み、それ以外の階層では減少した。

また、飼養頭数は「1～19頭」及び「100頭以上」の階層で前年に比べてそれぞれ2.9%、4.0%増加した。

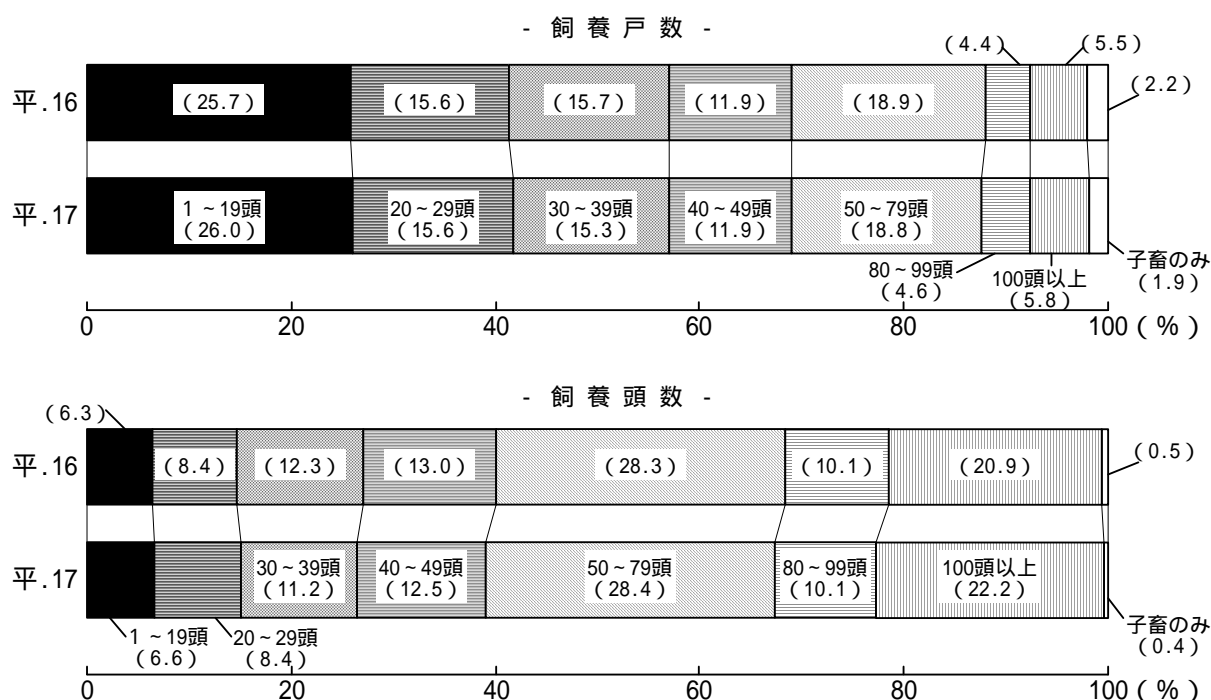
この結果、「80～99頭」及び「100頭以上」の階層は成畜飼養頭数に占める割合が32.3%となり、大規模飼養者層の割合が高まっている。

表2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	計	成畜飼養頭数規模										子畜のみ
		小計	1～19頭	20～29	30～39	40～49	50～79	80～99	100頭以上			
飼養戸数	実（戸）	平. 16	28 600	27 900	7 360	4 460	4 490	3 400	5 410	1 260	1 570	618
	（戸）	17	27 400	26 900	7 130	4 270	4 200	3 270	5 140	1 260	1 590	520
飼養戸数	対前年比（%）	平. 16	96.9	96.2	96.5	92.1	100.2	88.8	98.2	105.9	104.0	115.7
	（%）	17	95.8	96.4	96.9	95.7	93.5	96.2	95.0	100.0	101.3	84.1
飼養頭数	実（千頭）	平. 16	1665.0	1656.0	105.2	139.6	205.4	217.1	472.0	167.8	348.5	8.9
	（千頭）	17	1630.0	1623.0	108.2	137.2	182.6	204.1	463.5	164.8	362.6	7.2
飼養頭数	対前年比（%）	平. 16	98.9	98.9	93.6	86.5	98.8	91.3	98.5	111.3	107.4	92.7
	（%）	17	97.9	98.0	102.9	98.3	88.9	94.0	98.2	98.2	104.0	80.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

図2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合



ウ 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、飼料作物を作付けしている戸数は2万4,100戸で、乳用牛飼養者の88.0%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では99.0%とほとんどの飼養者が飼料作物を作付けしており、東北及び九州においても9割を超える飼養者が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

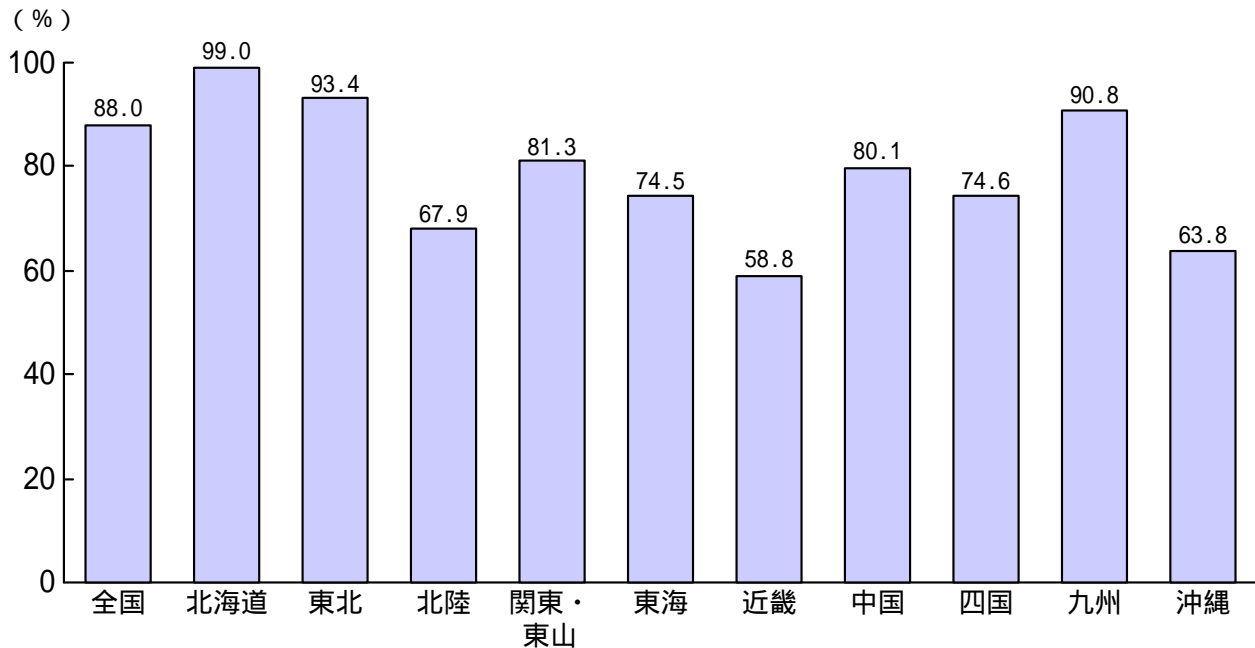


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	27 400	24 100	88.0	532 900	505 800
北海道	8 790	8 700	99.0	442 900	425 900
東北	4 410	4 120	93.4	37 400	33 600
北陸	602	409	67.9	2 540	2 060
関東・東山	5 820	4 730	81.3	20 500	17 700
東海	1 340	998	74.5	5 010	4 460
近畿	1 150	676	58.8	1 750	1 350
中国	1 360	1 090	80.1	5 360	4 760
四国	819	611	74.6	1 810	1 560
九州	2 950	2 680	90.8	15 500	14 300
沖縄	130	83	63.8	220	170

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

エ 乳用牛飼養者の放牧飼養の状況

全国の乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、放牧飼養を行った戸数（他に委託して行った放牧を除く。）は5,130戸で、乳用牛飼養者の18.7%となっている。

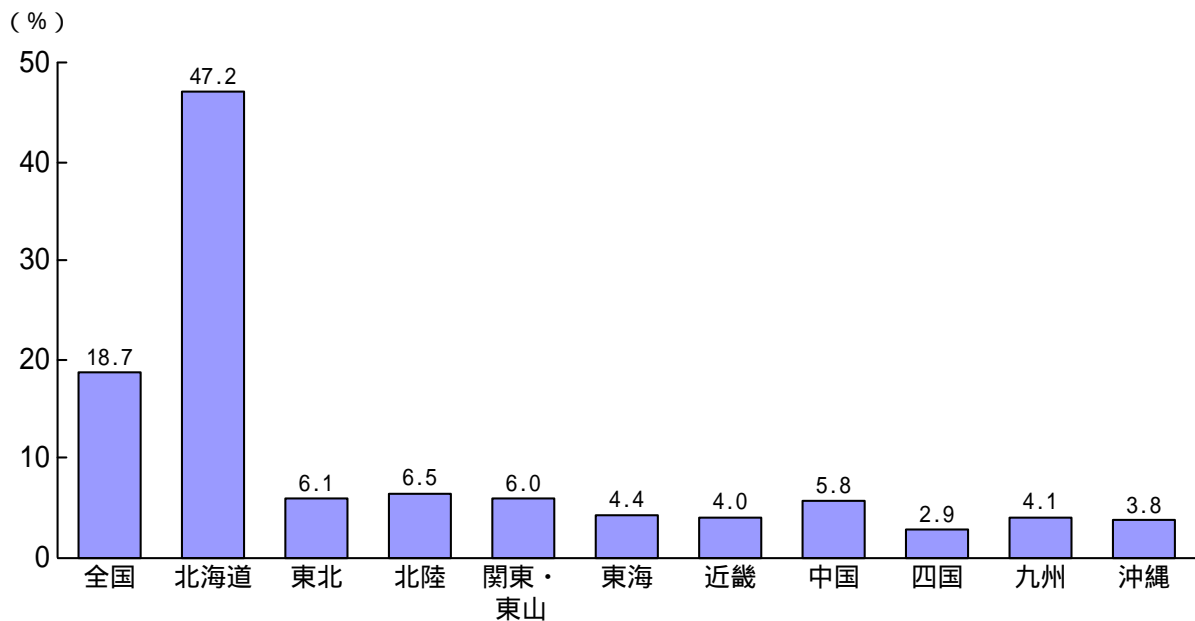
これを全国農業地域別にみると、北海道では47.2%の飼養者が放牧飼養を行っており、他の地域では2.9%～6.5%と低くなっている。

表4 乳用牛飼養者の放牧飼養の状況

区 分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧面積	放牧頭数
	戸	戸	%	ha	頭
全 国	27 400	5 130	18.7	60 800	232 700
北 海 道	8 790	4 150	47.2	56 800	211 600
東 北	4 410	268	6.1	2 430	6 740
北 陸	602	39	6.5	110	1 150
関 東・東 山	5 820	347	6.0	300	6 550
東 海	1 340	59	4.4	70	1 280
近 畿	1 150	46	4.0	X	X
中 国	1 360	79	5.8	260	1 440
四 国	819	24	2.9	X	X
九 州	2 950	121	4.1	480	2 570
沖 縄	130	5	3.8	10	190

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合



オ 乳用牛飼養者の粗飼料自給割合別飼養戸数の状況

全国の乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）の粗飼料自給割合別飼養戸数の分布をみると、「90%以上」の階層が38.3%で最も高くなっている。

これを北海道、都府県別にみると、北海道では、同階層の割合が84.3%を占めており、都府県の16.5%を大きく上回っている。

図5 乳用牛飼養者の粗飼料自給割合別飼養戸数

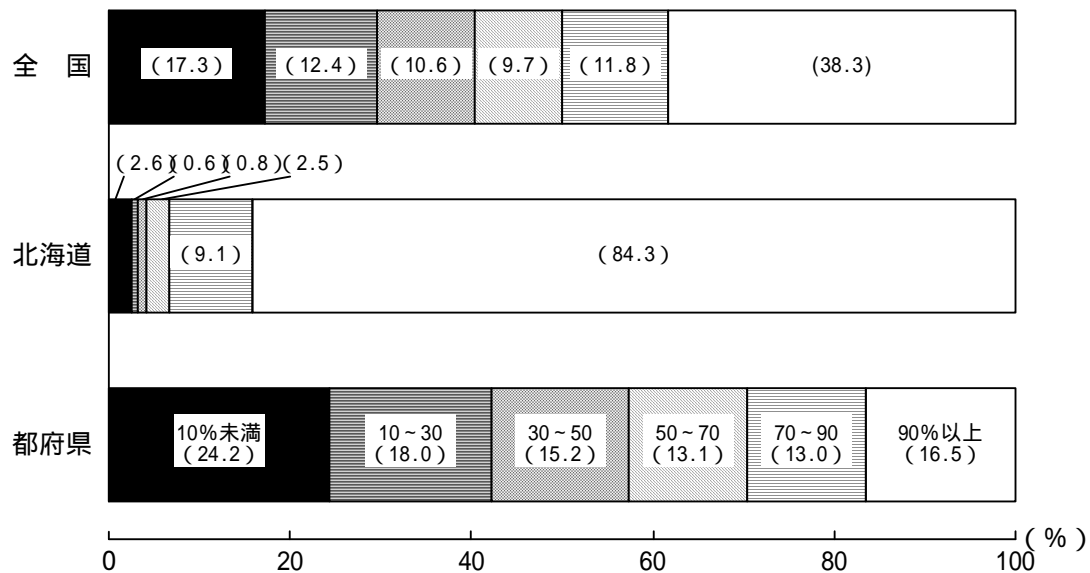


表5 乳用牛飼養者の粗飼料自給割合別飼養戸数

単位：戸

区分	計	10%未満	10~30	30~50	50~70	70~90	90%以上
全国							
戸数	27 400	4 740	3 400	2 900	2 660	3 220	10 500
構成比(%)	100.0	17.3	12.4	10.6	9.7	11.8	38.3
北海道							
戸数	8 790	229	54	74	223	803	7 410
構成比(%)	100.0	2.6	0.6	0.8	2.5	9.1	84.3
都府県							
戸数	18 600	4 510	3 350	2 820	2 430	2 420	3 060
構成比(%)	100.0	24.2	18.0	15.2	13.1	13.0	16.5

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

(2) 肉用牛

ア 飼養戸数・頭数

平成17年の全国の肉用牛の飼養戸数は8万9,600戸で、前年に比べて4,300戸(4.6%)減少した。

飼養頭数は274万7,000頭で、前年に比べて4万1,000頭(1.5%)減少した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より1頭増加して31頭となった。

また、肉用牛の種類別飼養頭数をみると、肉用種は169万7,000頭で、前年並みであったが、乳用種は104万9,000頭で、前年に比べて3万頭(2.8%)減少した。

なお、乳用種のうち、ホルスタイン種他は47万700頭で前年並みとなったが、交雑種は57万8,500頭で、前年に比べて3万200頭(5.0%)減少した。

図6 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

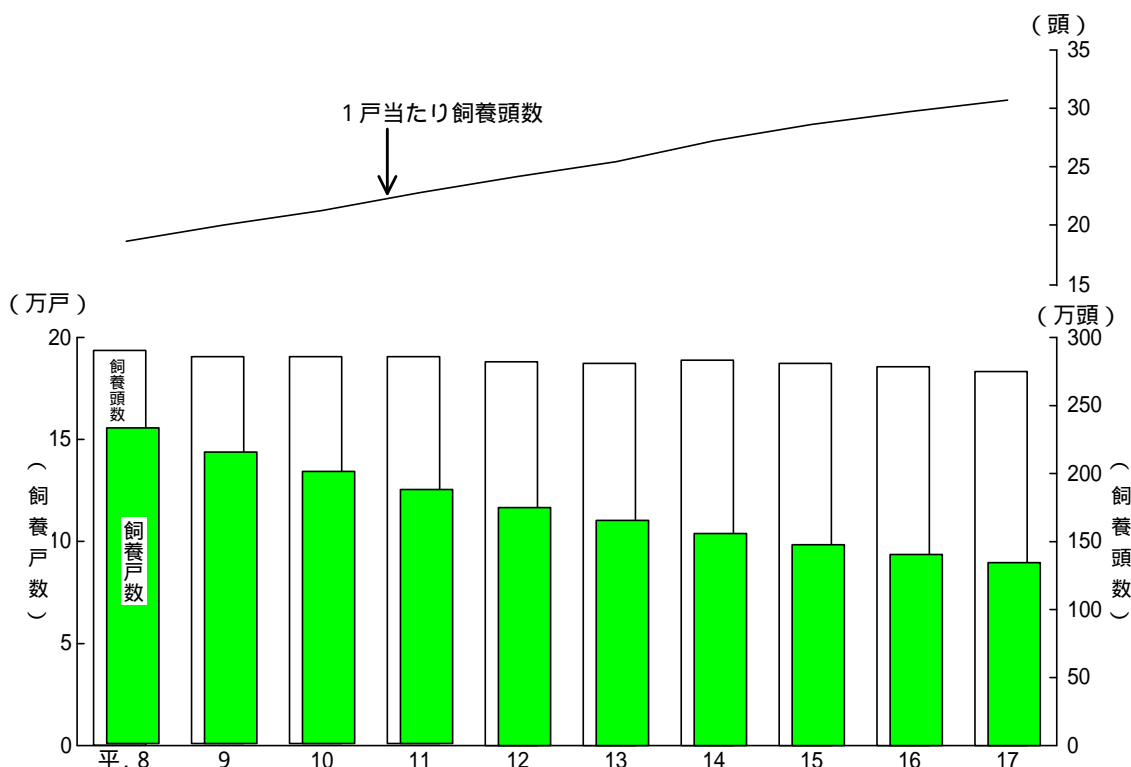


表6 肉用牛の飼養戸数・種類別頭数

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数 (千 頭)						1戸当たり飼養頭数
		計	肉用種	乳 用 種				
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種		
実 数	平. 15	98 100	2 805.0	1 705.0	1 101.0	470.7	629.8	29
	16	93 900	2 788.0	1 709.0	1 079.0	470.4	608.7	30
	17	89 600	2 747.0	1 697.0	1 049.0	470.7	578.5	31
対前年比 (%)	平. 15	94.1	98.8	99.6	97.7	97.4	97.9	1) 2
	16	95.7	99.4	100.2	98.0	99.9	96.6	1) 1
	17	95.4	98.5	99.3	97.2	100.1	95.0	1) 1
構成比 (%)	平. 15	-	100.0	60.8	39.3	16.8	22.5	-
	16	-	100.0	61.3	38.7	16.9	21.8	-
	17	-	100.0	61.8	38.2	17.1	21.1	-

注:1)は、対前年差である。

イ 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

(ア) 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別にみると、飼養戸数はすべての階層で減少した。

飼養頭数は前年に比べて「1～2頭」の階層で1.4%、「5～9頭」の階層で3.5%、「30～49頭」の階層で0.8%それぞれ増加したが、それ以外の階層では減少した。

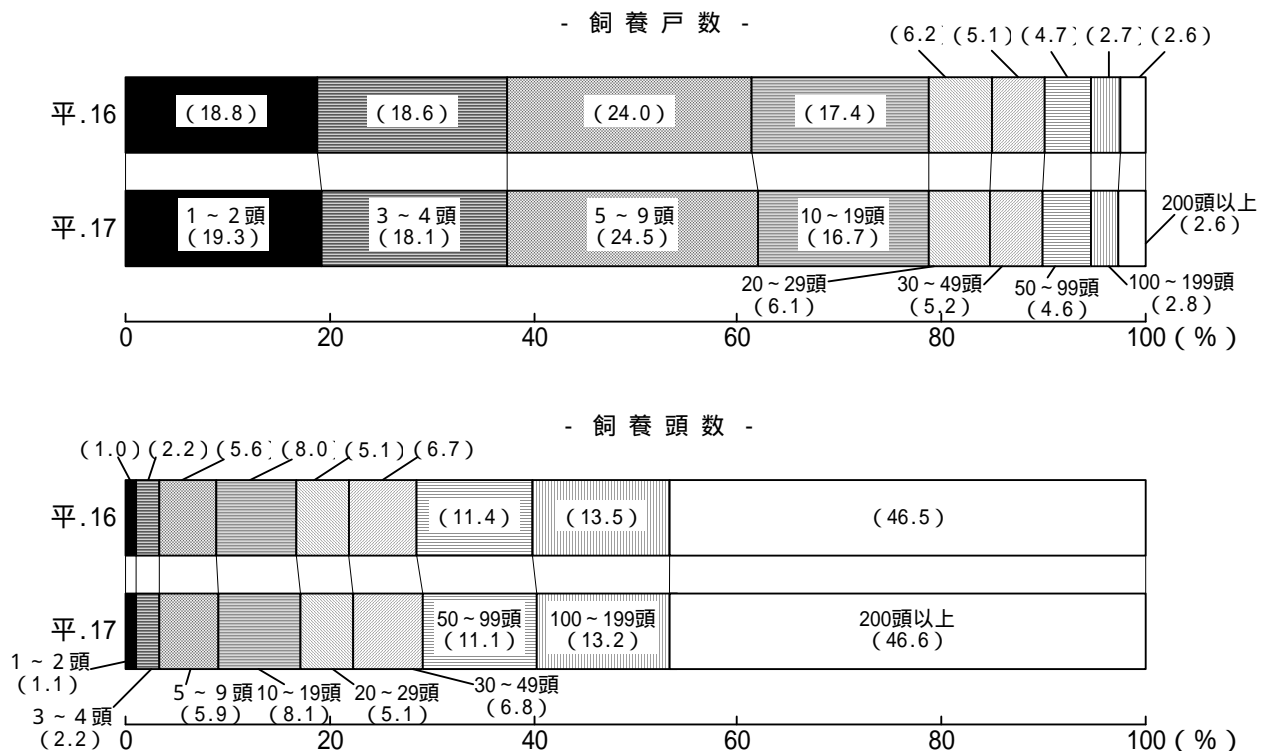
なお、「200頭以上」の最も大規模な階層は、前年に比べて1.4%減少したが、総飼養頭数に占める割合は46.6%と半数近くを占めている。

表7 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分		計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	
飼養戸数	実(戸)	平. 16	93 300	17 500	17 400	22 400	16 200	5 780	4 740	4 350	2 560	2 400
	対前年比(%)	17	89 100	17 200	16 100	21 800	14 900	5 440	4 670	4 100	2 520	2 310
飼養頭数	実(千頭)	平. 16	2 755.0	28.6	61.3	153.5	219.7	140.0	183.9	313.9	372.8	1 281.0
	対前年比(%)	17	2 710.0	29.0	59.3	158.8	218.4	138.3	185.4	299.8	357.4	1 263.0

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

図7 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合



(イ) 肉用牛飼養種類別の頭数規模別飼養戸数

a 子取り用めす牛(肉用種)

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は7万6,200戸で、肉用牛飼養戸数8万9,100戸の85.5%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「1頭」は前年並みであったが、それ以外の階層では減少した。

表8 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	肉用牛の飼養戸数	子取り用めす牛飼養頭数規模											子取り用めす牛なし
		小計	1頭	2	3~4	5~9	10~19	20~29	30~49	50~99	100頭以上		
実数	平. 16	93 300	80 000	13 800	16 000	17 000	18 400	8 820	2 750	1 990	930	316	13 300
	17	89 100	76 200	13 800	13 800	16 600	17 800	8 700	2 660	1 770	822	265	12 900
対前年比(%)	平. 16	95.5	94.7	108.7	95.8	91.9	90.2	88.7	89.0	100.5	94.7	120.2	100.8
	17	95.5	95.3	100.0	86.3	97.6	96.7	98.6	96.7	88.9	88.4	83.9	97.0
構成比(%)	平. 16	100.0	85.7	14.8	17.1	18.2	19.7	9.5	2.9	2.1	1.0	0.3	14.3
	17	100.0	85.5	15.5	15.5	18.6	20.0	9.8	3.0	2.0	0.9	0.3	14.5

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

b 肥育用牛(肉用種)

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万3,600戸で、肉用牛飼養戸数の15.4%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「1~2頭」、「3~4頭」、「20~29頭」及び「200頭以上」の階層は前年に比べて増加し、「100~199頭」の階層では前年並みであったが、それ以外の階層では減少した。

表9 肥育用牛(肉用種)の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	肉用牛の飼養戸数	肥育用牛飼養頭数規模											肥育用牛なし
		計	1~2頭	3~4	5~9	10~19	20~29	30~49	50~99	100~199	200頭以上		
実数	平. 16	93 300	13 500	2 090	1 310	1 770	2 030	1 230	1 480	1 700	1 140	790	79 800
	17	89 100	13 600	2 820	1 340	1 710	1 770	1 300	1 300	1 470	1 140	796	75 400
対前年比(%)	平. 16	95.5	93.8	71.6	94.2	90.3	107.4	96.1	103.5	112.6	91.2	101.2	95.8
	17	95.5	100.7	134.9	102.3	96.6	87.2	105.7	87.8	86.5	100.0	100.8	94.5
構成比(%)	平. 16	100.0	14.5	2.2	1.4	1.9	2.2	1.3	1.6	1.8	1.2	0.8	85.5
	17	100.0	15.3	3.2	1.5	1.9	2.0	1.5	1.5	1.6	1.3	0.9	84.6

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

c 乳用種

乳用種を飼養している戸数は7,910戸で、肉用牛飼養戸数の8.8%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「1~2頭」及び「50~99頭」の階層は前年に比べて増加したが、それ以外の階層では減少した。

表10 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	肉用牛の飼養戸数	乳用種飼養頭数規模											乳用種なし
		計	1~2頭	3~4	5~9	10~19	20~29	30~49	50~99	100~199	200頭以上		
実数	平. 16	93 300	8 060	975	700	947	885	519	625	970	1 020	1 420	85 300
	17	89 100	7 910	1 420	609	760	839	462	536	1 000	916	1 360	81 200
対前年比(%)	平. 16	95.5	104.1	121.9	118.8	132.1	110.1	90.6	92.3	95.1	98.1	93.4	94.8
	17	95.5	98.1	145.6	87.0	80.3	94.8	89.0	85.8	103.1	89.8	95.8	95.2
構成比(%)	平. 16	100.0	8.6	1.0	0.8	1.0	0.9	0.6	0.7	1.0	1.1	1.5	91.4
	17	100.0	8.9	1.6	0.7	0.9	0.9	0.5	0.6	1.1	1.0	1.5	91.1

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

ウ 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、飼料作物を作付けしている戸数は7万1,700戸で肉用牛飼養者の80.5%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道で90.6%、九州で87.2%、東北で80.7%の飼養者が飼料作物を作付けしている。

図8 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

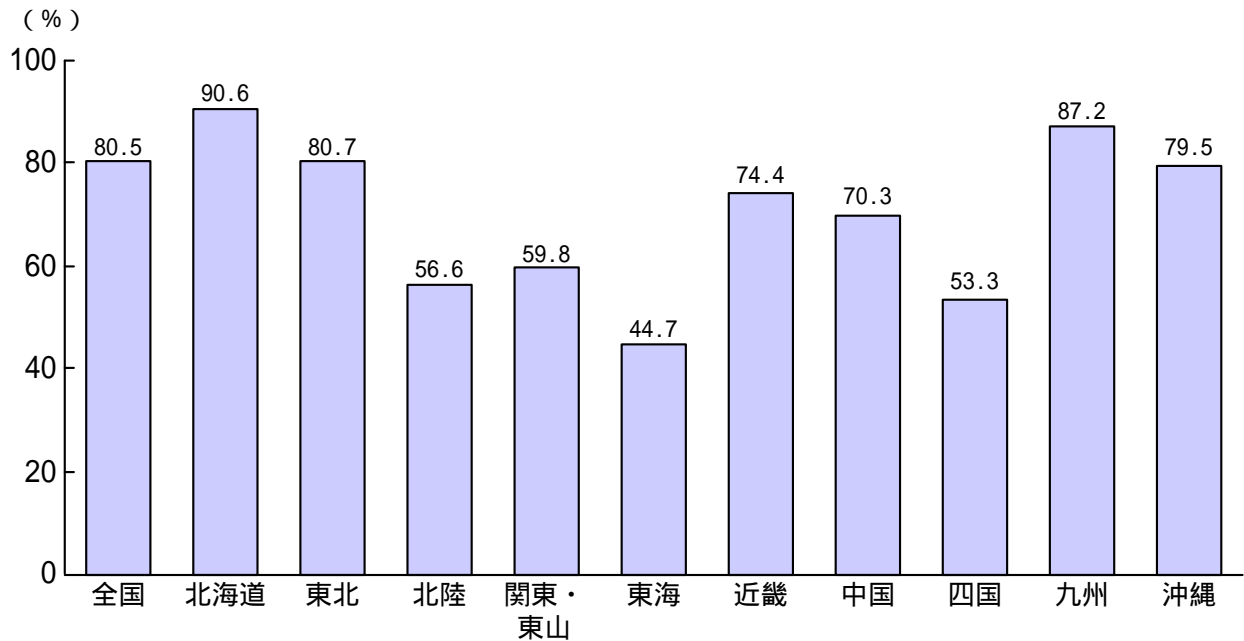


表11 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	89 100	71 700	80.5	266 600	169 400
北海道	2 870	2 600	90.6	83 400	68 700
東北	25 400	20 500	80.7	75 300	35 900
北陸	629	356	56.6	1 720	830
関東・東山	5 420	3 240	59.8	12 600	5 710
東海	1 820	814	44.7	2 880	1 580
近畿	2 850	2 120	74.4	3 160	1 110
中国	5 550	3 900	70.3	8 910	3 920
四国	1 370	730	53.3	1 560	960
九州	39 900	34 800	87.2	68 200	45 500
沖縄	3 320	2 640	79.5	8 810	5 200

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

エ 肉用牛飼養者の放牧飼養の状況

全国の肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、放牧飼養を行った戸数（他に委託して行った放牧を除く。）は5,670戸で肉用牛飼養者の6.4%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では42.2%の飼養者が放牧飼養を行っており、他の地域を大きく上回っている。

図9 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

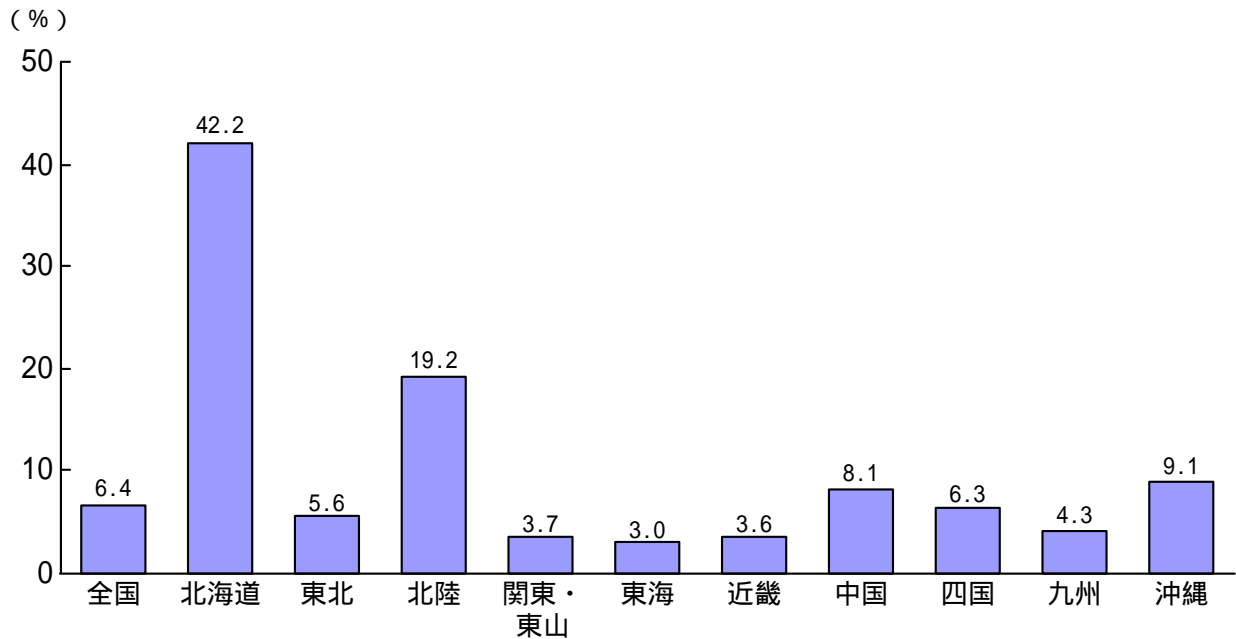


表12 肉用牛飼養者の放牧飼養の状況

区 分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧面積	放牧頭数
	戸	戸	%	ha	頭
全 国	89 100	5 670	6.4	40 900	98 400
北 海 道	2 870	1 210	42.2	14 700	43 100
東 北	25 400	1 430	5.6	8 550	12 800
北 陸	629	121	19.2	860	440
関 東 ・ 東 山	5 420	198	3.7	X	X
東 海	1 820	55	3.0	1 380	400
近 畿	2 850	103	3.6	X	X
中 国	5 550	451	8.1	1 510	5 410
四 国	1 370	86	6.3	480	1 440
九 州	39 900	1 720	4.3	11 200	22 200
沖 縄	3 320	301	9.1	1 590	6 360

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

オ 肉用牛飼養者の粗飼料自給割合別飼養戸数の状況

全国の肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）の粗飼料自給割合別飼養戸数の分布をみると、「90%以上」の階層が53.5%で最も高くなっている。

これを北海道、都府県別にみると、同階層の割合は北海道で64.1%、都府県で53.2%といずれも高くなっている。

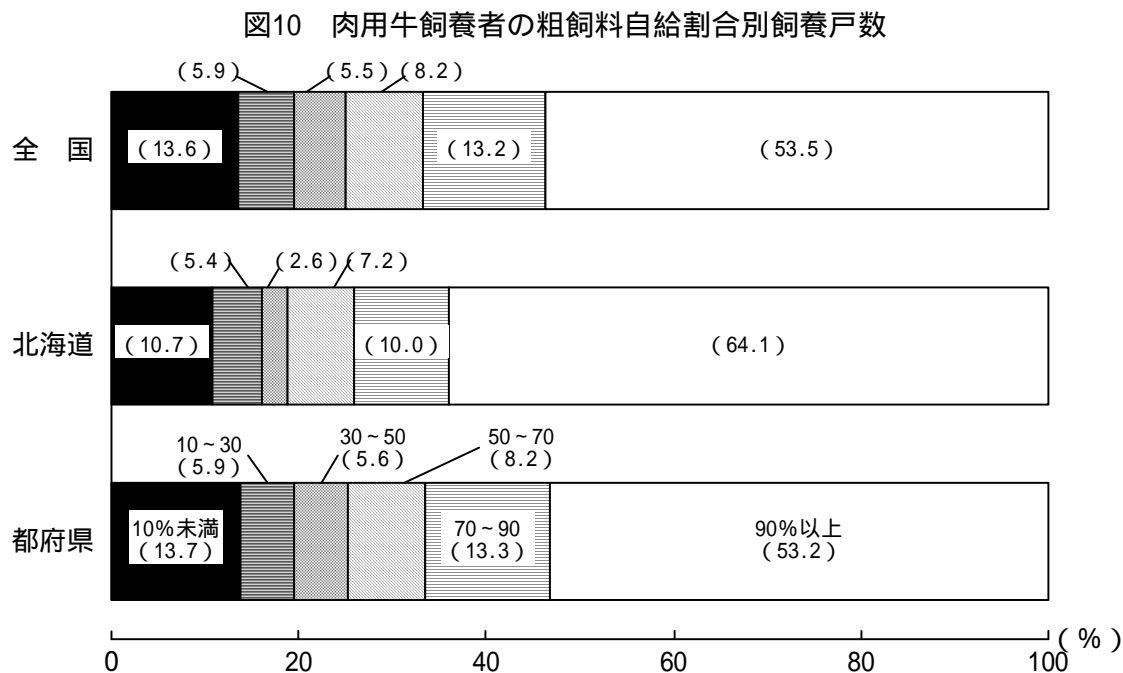


表13 肉用牛飼養者の粗飼料自給割合別飼養戸数

単位：戸

区分	計	10%未満	10~30	30~50	50~70	70~90	90%以上
全国							
戸数	89 100	12 100	5 220	4 900	7 280	11 800	47 700
構成比 (%)	100.0	13.6	5.9	5.5	8.2	13.2	53.5
北海道							
戸数	2 870	308	155	76	206	288	1 840
構成比 (%)	100.0	10.7	5.4	2.6	7.2	10.0	64.1
都府県							
戸数	86 200	11 800	5 070	4 820	7 080	11 500	45 900
構成比 (%)	100.0	13.7	5.9	5.6	8.2	13.3	53.2

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

(3) 鶏ひなふ化羽数

ア ふ化羽数及び出荷羽数

(ア) 採卵用めすひな

平成16年（1月～12月）の全国の採卵用めすひなのふ化羽数は1億1,111万4千羽、出荷羽数は1億499万2千羽で、国内での高病原性鳥インフルエンザの影響及び鶏卵価格の低迷によりひな導入を控えたこと等から、前年に比べてそれぞれ4.3%、4.6%減少した。

(イ) プロイラー用ひな

平成16年（1月～12月）の全国のプロイラー用ひなのふ化羽数は6億4,785万2千羽、出荷羽数は6億3,012万1千羽で、国内での高病原性鳥インフルエンザの影響があったものの、海外における高病原性鳥インフルエンザの発生により鶏肉等の輸入量が減少し、国産鶏肉の需要が高まったこと等から、いずれも前年並みとなった。

図11 出荷羽数の推移（全国）

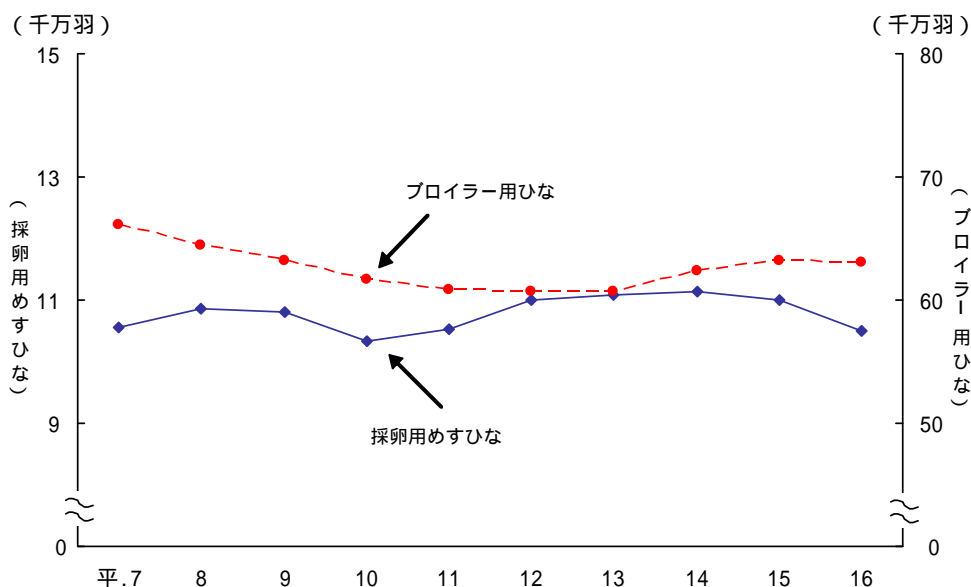


表14 ふ化羽数及び出荷羽数

単位：千羽

区 分			平.7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
採卵用めすひな	ふ化羽数	実数	111 543	114 374	113 849	109 309	111 269	115 857	117 236	117 449	116 161	111 114
		対前年比(%)	99.8	102.5	99.5	96.0	101.8	104.1	101.2	100.2	98.9	95.7
採卵用めすひな	出荷羽数	実数	105 662	108 573	107 998	103 405	105 387	109 867	110 806	111 523	110 111	104 992
		対前年比(%)	99.9	102.8	99.5	95.7	101.9	104.3	100.9	100.6	98.7	95.4
プロイラー用ひな	ふ化羽数	実数	678 561	659 923	647 613	629 968	624 657	621 746	623 380	639 610	647 820	647 852
		対前年比(%)	97.4	97.3	98.1	97.3	99.2	99.5	100.3	102.6	101.3	100.0
プロイラー用ひな	出荷羽数	実数	661 237	644 020	632 136	616 177	608 972	606 599	607 197	623 610	631 596	630 121
		対前年比(%)	97.5	97.4	98.2	97.5	98.8	99.6	100.1	102.7	101.3	99.8

イ 全国農業地域別え付け羽数

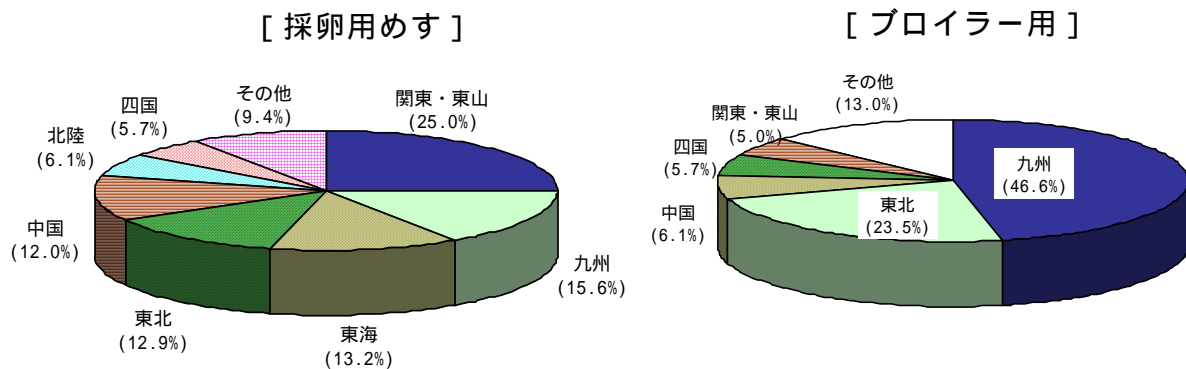
(ア) 採卵用めすひな

採卵用めすひなの全国農業地域別え付け羽数をみると、中国では16.3%増加したが、それ以外の地域では減少した。

(イ) ブロイラー用ひな

ブロイラー用ひなの全国農業地域別え付け羽数をみると、北海道、九州、沖縄ではそれぞれ5.9%、1.8%、1.3%増加したが、それ以外の地域では減少した。

図12 全国農業地域別え付け羽数の割合



注) え付け羽数の全国割合が5.0%未満の地域については「その他」とした。

表15 全国農業地域別え付け羽数の割合

単位：千羽

区分		全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
採卵用めすひな	実数	平.15年	110 111	4 938	13 815	7 042	27 422	14 584	6 251	10 856	6 429	17 828	946
		16年	104 992	4 870	13 526	6 449	26 242	13 878	4 198	12 628	5 960	16 385	856
	対前年比 (%)	平.15年	98.7	98.0	94.9	104.8	97.1	99.1	96.1	110.8	91.5	99.0	104.3
		16年	95.4	98.6	97.9	91.6	95.7	95.2	67.2	116.3	92.7	91.9	90.5
ブロイラー用ひな	実数	平.15年	631 596	26 373	149 886	6 382	32 607	23 079	25 564	39 340	36 722	288 577	3 066
		16年	630 121	27 919	147 841	5 786	31 307	22 147	23 439	38 696	36 073	293 806	3 107
	対前年比 (%)	平.15年	101.3	99.5	101.3	103.5	100.7	97.9	100.2	100.2	99.9	102.3	92.0
		16年	99.8	105.9	98.6	90.7	96.0	96.0	91.7	98.4	98.2	101.8	101.3
構成比 (%)	平.15年	100.0	4.5	12.5	6.4	24.9	13.2	5.7	9.9	5.8	16.2	0.9	
	16年	100.0	4.6	12.9	6.1	25.0	13.2	4.0	12.0	5.7	15.6	0.8	